

普及活動情勢報告（令和 6 年 7 月分）

高吾農業改良普及所

飼料用米の収量増加を目指して ～集落営農法人 早期飼料用米視察研修～



視察研修の様子

6月25日、集落営農法人である（農）トピアとかのが早期飼料用米の視察研修を幡多農業振興センター管内のほ場で行い、役員4名が参加しました。

トピアとかのでは、昨年、飼料用米の目標収量に到達できなかったことが課題となっており、普及所は新たな品種「とよめき」や鶏糞の施用について情報提供を行ってきました。今回の研修で、「とよめき」や鶏糞を活用した試験ほ場を視察した役員からは「収量を見て、来年の品種を検討する。」や「来年からの鶏糞施用を検討する。」と言った意見が聞かれました。

普及所は、今後も巡回や情報提供を通して、組織の栽培する飼料用米の収量増加を支援していきます。

非辛みシシトウ導入推進に向けて～目慣らし会で非辛みシシトウ視察結果を共有～



目慣らし会での
情報提供の様子

6月25日、JA高知県越知シシトウ部会の目慣らし会が開催（参加農家8戸）され、普及所は栽培講習に加え、農業技術センター非辛みシシトウ試験ほ場の視察報告及び本年度の非辛みシシトウ実証試験の説明を行いました。

実証農家からは「非辛みシシトウは生育が旺盛」、「水を欲しがする気がする」などの声があり、慣行品種よりかん水量が必要であることを説明しました。

普及所では、今後、実証試験結果を情報提供するとともに、露地栽培用マニュアルを作成して、非辛みシシトウの導入を推進していきます。

ナシの栽培技術向上を目指して～佐川町落葉果樹研究同志会の視察～



果樹試験場を視察中の様子

7月11日、佐川町落葉果樹研究同志会 6 名が、果樹試験場のナシほ場と高知県中央青果市場の視察を行いました。

佐川町落葉果樹研究同志会は、栽培技術向上のために他産地の情報収集を目的とした視察を毎年行っています。普及所は、視察の計画や日程調整等を行い、視察を円滑に行えるように支援しました。

視察先では、ナシの台木や樹形、品種などに関する質問のほか、参加者から「今年の状況や品種などの話が出来て良かった」といった声が聞かれました。

普及所は、今後もナシ農家の栽培技術の向上や経営改善に向けて、支援していきます。